



01 通院支援アプリで会計待ち時間をゼロに

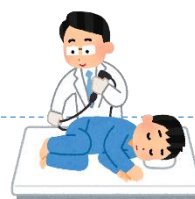


豊川市民病院では、通院支援アプリ「コンシェルジュ」を導入しています。ご自身のスマートフォンに登録していただくことで、便利なサービスをご利用いただけますが、今回はその中の「らくらく会計」機能をご紹介します。

診察日当日、スマートフォンで「らくらく会計を利用する」ボタンをタッチするだけで、計算窓口に並んだり、計算終了を待ったり、精算機の順番待ちの列に並ぶ必要がなく、専用の「らくらく会計窓口」に案内票を提出するだけで帰宅できます。これにより、診察室を出てから病院を出るまでの時間が大きく短縮されます。※あらかじめ支払いに使用するクレジットカードを「コンシェルジュ」アプリに登録しておく必要があります。

登録は最初の1回のみで、診察の都度クレジットカード番号等を入力する必要はありません。「コンシェルジュ」には、他にも診察予約日（検査は対象外）の確認機能や、診察日前日のお知らせ通知機能、診察日当日に順番が近づくとお知らせする機能などがあり、便利にお使いいただけます。また、本人の同意があれば、ご家族等を一緒に登録することができるので、付き添いの方が確認したり、家族で支払いカードを一緒にすることができます。登録時のトラブル等にも対応しておりますので、安心してご利用いただけます。まだ利用されていない方は、この機会に是非ご登録ください。登録は2階総合案内で行っています。

02 増えている「大腸がん」から身を守るために



総合健診室では、みなさまの健康を守るため人間ドックを実施しています。

今回は令和6年度のがん検診結果から、日本人に増えている「大腸がん」についてご報告します。

① 令和6年度の検査実績

令和6年度の大腸がん検診受診者は合計2,520名でした。そのうち「要精密検査（陽性）」と判定された方は112名（要精検率4.4%）でした。陽性判定を受けた方のうち、精密検査を受けた報告のあった方は90名（精検受診率80.4%）でした。最終的に、この検診を通じて3件のがんが発見されています。

「たった3人？」と思われるかもしれませんが、検診で見つかるがんは早期であることも多く、これらの方々が早期治療につながったことは非常に大きな意義があります。

② 検査のポイント

大腸がん検診は、自宅で便を二日分採取するだけの「便潜血検査」です。目に見えない出血の有無を確認します。

要精密検査となった112名のうち、実際にがんが見つかったのは3名です。陽性の結果が出て、過度に恐れる必要はありませんが、「症状がないから大丈夫」、「痔だから」と自己判断せず、大腸を詳しく調べる機会と捉えて、消化器内科を受診しましょう。

健診室では人間ドックや生活習慣病予防健診、脳ドックなど各種健康診断を行っています。

人間ドック・脳ドック・各種健康診断予約電話
0533-95-0030（平日8:30～17:00）

03 最新機器の紹介 血管撮影装置 「Trinias B8s Opera Grand」



●血管撮影装置（アンギオグラフィ）とは

カテーテルと呼ばれる細い管を血管に通し、造影剤を注入しながらX線を照射することで血管の様子をリアルタイムに映し出すことができる装置です。心筋梗塞や脳動脈瘤など、血管の病気の低侵襲な治療として、重要な役割を果たしています。

●装置の特徴

AI技術（ディープラーニング技術）を搭載することにより、ノイズ低減やガイドワイヤーなどのデバイスの視認性の向上が可能となります。従来の機器より低い放射線量で診断や治療に必要な情報を確保できることから、患者さんだけでなく、検査に携わる医師・看護師・診療放射線技師などすべてのスタッフの被ばく線量の低減が期待できます。

●アプリケーションの充実

心臓のPCI（経皮的冠動脈インターベンション）治療では、拍動により動くステントを強調して表示させることで、より安全で確実な治療をサポートします。ステント留置後の形状確認でもノイズを低減することができるため、正確な形状評価が可能となります。音声認識ユーザーインターフェースが搭載されており、オペレーターの声でシステムを操作することができ、操作の一部をハンズフリーで実行することができます。

●ソフトウェア更新による拡張性

アプリケーションやAI技術などが定期的にアップデートされることにより、装置導入後も製品価値を継続して得られることができます。臨床現場のフィードバックが反映され、時間が経つことで更に進化していくことが期待できる装置です。

04 外来栄養指導について

栄養管理科では主治医の指示の元、当院へ受診されている方を対象に食事を通して疾患の進行の抑制や改善を目指して外来での栄養指導を実施しています。糖尿病や脂質異常症、高血圧症などの生活習慣病をはじめ、腎臓病や化学療法を行っている方など幅広い疾患の患者様やそのご家族様に対して指導を行っております。

一人ひとりと向き合い、普段の食生活や血液検査の結果を参考にしながら、病気と食事の関係や改善の必要性についてわかり易く、実施しやすい提案を心がけています。「一緒に考え、より良い食生活を目指しましょう」

外来栄養指導については、予約（希望される曜日と時間帯）の他、診察日での待ち時間を利用しての相談も可能ですので、まずは主治医の先生に相談してみたいはいかがでしょうか。

▶場所：内科Eブロック付近

▶日時：平日8:30～17:15



05 令和8年6月1日より 医療費が変わります

医療費は国が定める診療報酬の点数表をもとに算出しますが、医療サービス向上、政策推進、社会情勢の反映等を理由に2年ごとに改定が行われます。令和8年6月1日より改定後の点数表により医療費を計算します。そのため、治療内容に変更がないに関わらず、今までの金額とは異なることがあります。

また、今回の改定では入院中の食事代についても変更があり、一般所得の方で1食当たり40円増額します。詳しくは加入している保険者または豊川市民病院のホームページをご確認ください。

診療報酬には、医療費以外にも、物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取り巻く環境への対応、急性期医療機関機能への評価、ICT等の活用による業務効率化・負担軽減等の様々な政策、制度が盛り込まれています。今後、皆さまには、ご協力を求める機会があるかと思いますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。